

●市民防災部の機構改革や観光税の導入を

未だに続く能登の余震、進まない復旧作業。いつ私達が被災者になるか、その切迫感とともに、住む地域、それぞれの状況によって対処方法も変わるはず。

連休中は極端な混雑は避けられたものの、常に身の回りに外国人や見知らぬ人がいる状況。観光による経済的発展は歓迎しつつも、私達市民が穏やかに暮らせるまちづくりの視点も必要。今議会では地域防災と観光について質問しました(中面に詳細)。

●引き続き、「新庁舎等整備～委員会」の委員長に

正式な名称は「新庁舎等整備に関する調査特別委員会」。新庁舎や旧庁舎の整備内容、その進捗状況を調査する委員会です。来年2月議会でまとめを発表する予定。

調査特別委員会は、議決などに関わることなく様々な内容を確認できる場。まずは新庁舎等基本設計及びDX支援業務の位置づけ、公募型プロポーザル募集の内容などを討議し、そして未来へ繋げていきます。



委員長テーブル (5/17)

●「災害は忘れる前にやってくる!」

熊本県宇土市元松茂樹市長の言葉です。5/25の御成小学校体育館での講演。8年前の熊本地震で、大丈夫と言われていた市庁舎が崩壊して機能不全となった。

まずは拠点探しから模索、通常業務と災害対策を並行して進めようと、頻繁に起きる余震に怯えながら試行錯誤。昨年やっと新庁舎が完成。

想定外のことが起きるのが災害、司令塔となる市庁舎の崩壊は、被災後の市民に与える影響があまりにも大きく、あってはならないことだと確信しました。



熊本県宇土市 元松市長

前川あやこの活動は
ブログ「いやさか通信」
Facebook、Instagramを
ご覧ください。



いやさか通信



Facebook



Instagram

ブログ「いやさか通信」から

海蔵寺、浄光明寺を巡る



浄明寺町内会主催の鎌倉散策。今回は扇谷の名刹を訪ねた。同じ鎌倉でも横須賀線の西側は緑遠いもの。素晴らしい寺々に感激(6/15)。

材木座五所神社例大祭



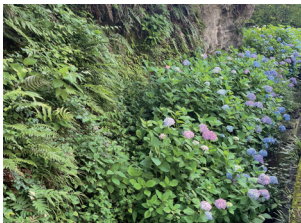
御所和賀を中心に市内外、70組もの神輿会が一堂に。神輿3基は市内をめぐり、光明寺山門前で安全祈願。豊漁を祈り海の中へ(6/9)。

GSCヨコハマの皆さんと



市議会議長時の縁で今もプロジェクトに参加させていただくヨコハマハブ。ダボス会議によって組織された若い女性のコミュニティです(6/2)。

宅間川にアジサイの名所



雑草が生えないようにとご近所の方々と挿し木したアジサイ。今では通る人が写真に収めるほど。切岸と相まっていかにも鎌倉(6/1)。

第4回 鎌倉水彩画塾展



生徒さんの作品350点、さらに塾長矢野元晴さんの作品も合わせた大展示会。矢野さんは息子の小学校時代の同級生。話が弾みました(5/29)。

5年ぶり雪ノ下桜道バザー



この会には立ち上げから参加させて頂きもう15回目。久しぶりの開催に、やっとコロナも終わったか、と感無量。フェアトレード関係の方も参加(5/19)。

前川あやこのホームページからブログ「いやさか通信」をご覧ください。
<http://www.maekawa-ayako.net>

【発行】前川あやこ 【住所】〒248-0003 鎌倉市浄明寺2-10-8
【TEL / FAX】0467-23-0964 【E-mail】info@maekawa-ayako.net
【前川あやこ履歴】1960年鎌倉市二階堂生まれ、聖心の園幼稚園
第二小・中学校、聖園女学院、日本大学。



鎌倉市議会6月定例会は、6月5日から始まり、5,6,7,10日が一般質問。写真は6日に質問に立った私。11日から総務常任委員会、教育福祉常任委員会(私が副委員長を務めている)、市民環境常任委員会、建設常任委員会と続いたが、今議会は夜8時まで行われた本会議あり、夜11時半終了という委員会もあった(2024,6,17)。



無所属 鎌倉市議会議員5期
前川あやこ

会派「夢みらい鎌倉」所属

教育福祉常任委員会副委員長

新庁舎等整備に関する調査特別委員会委員長

レポート

NO.83

2024,07発行

2024年6月議会からのご報告

- 1 災害は忘れる前にやってくる!
- 2 支援を必要とする方の避難
- 3 若宮大路に駐停車する観光車



WEBサイト

討議資料

防災は地域、個人、そして市全体で

●地域の防災意識の高まり

この3月に市の主催ではない、民間主導の防災講演会に参加しました。医師、介護事業者、町内会、学校関係者、加えて市長や行政職員も参加し、市民の防災意識の高まりを感じました。

私の住む浄明寺地域も独自の避難所運用マニュアルを作成していますが、このように地域の特性にあったマニュアルは、16の小学校区中15の区域でできており、実際の避難所開設訓練も行われています。より質を高めるよう、さらなる市の支援を要望しています。

●支援を必要とする方々の避難について

避難行動要支援者支援制度は、ご高齢者や障がいを持つ方の避難を助けるための制度で、ご本人の同意のもと関係者に名簿を提供して、地域の中で支援を受けられるようにする制度です。

その名簿にそって個別避難計画の作成が市の努力義務ですが、鎌倉市の場合、約1万人の方が登録しており、全ての個別避難計画を作成することは現実的ではないと考えます。

対象の方がご高齢ならケアマネ、障がいを持つ方なら通所事業所を運営する団体というように分けて考え、計画を進めていくというのが市の考え方ですが、ケアマネさんなど福祉職の方々は、ただでさえ多くの問題を抱え、限られたギリギリの時間の中で業務をこなしています。ぜひ丁寧なバックアップをお願いします。

●市民防災部を独立した組織に

地域の避難所開設支援、個別避難計画の作成など多岐にわたる仕事内容に加え、万一の時には災害対応の司令塔とならなければならない市民防災部。しかし現状は商工、観光、戸籍などを含めた組織となっています。しかも、分庁舎で災害対策本部会議を開いている現状は早急に改革すべきです。

社会全般をみても、防災や防犯面で市民が不安に思う事象が日々増えてきています。市民を災害から守る、安全安心こそが行政の本務、最大の努力を望みます。

オーバー観光客の問題

●GWは幸い分散したが

恐れていた連休の人は、前後半に分かれ天候にも恵まれて大きな混雑は避けられました。しかし観光客がますます増える中、観光地という視点ではなく、そろそろまちづくりとしての視点を持って対応すべき時に来ています。

最近は観光地だから仕方ない、というご意見より、観光による経済的発展は認めつつも、観光地としての不満や不安を、いらだちを持って話される方が多くなりました。

●マナーに頼るのではなくマナーを伝えよう

狭い住宅地内の道を大声で話しながら歩く、ゴミのポイ捨て、敷地内への侵入、あるいは商店街での混乱。私たちには共通のマナーがあり、そのマナーに期待します。しかし、マナーは人それぞれ。市のHP、市が発行するマップ、あるいは情報の問い合わせに、「こうして欲しい」ではなく「こうですよ」と。修学旅行の生徒さんから海外の方まで、私たちは願っているのではなく、要求するようになります。



●若宮大路に駐停車するバス、白タク

一番驚いたのは八幡宮前の交差点内で人を降ろし、駐車して

いるワンボックスカー。若宮大路に停める車も多く、注意すると動く車もあれば、日本語が分からない振りをして居座る車もいます。パトカーが来れば動きますが、そういつも回ってくるわけではありません。

今年から商店街と自治会を一緒にして、市民防災部が防犯カメラを扱うこととなります。活用できないでしょうか。

●地域と調和し、世界に開かれる鎌倉

と、市では表明しています。すでに観光客は商業や交通、防犯という個別案件ではありません。まちづくりに関する担当課が集まって、解決する必要があります。交通渋滞、住宅地での騒音や防犯の不安など、悪影響が出ているのも事実。諸課題解決のためにも、観光客に何らかの負担を求めることも必要ではないでしょうか。観光税の導入も考えるべきです。

漁業施設建設でますます活気

鎌倉の漁業施設の建設は、半世紀に及ぶ漁師さん達の悲願だが、いよいよ建設に向けて設計作業が進んでいる。そのためか毎月第一日曜日、坂の下のパークホテルでの朝市、売り手の掛け声も一段と大きく、活気づいてきた。



自分らしく学び 自分らしく成長する 鎌倉市立由比ガ浜中学校(仮称) 来年4月開校

「ここなら通いたい」「ここなら自分らしく学べるかな」と希望を持てる学校を目指して、不登校特例校が開校します。

- 既存の中学校より授業時間を削減、柔軟で負担の少ない教育課程。
- 鎌倉市立御成中学校の分校として設置。定員は30名(各学年10名)程度。
- 対象は鎌倉市内に在住し、不登校状態または不登校傾向にある児童生徒。教育委員会は8月頃に学校説明会を開催する予定です。



フェアトレードタウン認定への取り組み

フェアトレードとは、発展途上国での貧困や過酷な労働を解消するために、製品や原材料を適正な価格で購入すること。一方、人や地球環境、社会などに配慮されているか、という意味で使われているエシカル消費という言葉があります。二つが相まってフェアトレードタウンの認定がありますが、鎌倉市議会の議決に向けて努力しています。

